

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3972500528
法人名	医療法人 若槻会
事業所名	グループホーム 希望の里
訪問調査日	平成 19 年 10 月 24 日
評価確定日	平成 20 年 2 月 6 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3972500528		
法人名	医療法人 若槻会		
事業所名	グループホーム 希望の里		
所在地 (電話番号)	高岡郡越知町越知甲1725番地1 (電話) 0889-26-1375		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年10月24日	評価確定日	平成20年2月6日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 1 月 5 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7 人 非常勤 2 人 常勤換算 8.1 人	

(2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="checkbox"/> 併設/単独	<input type="checkbox"/> 新築/改築
建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート 造り	
	3 階建ての	2 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円) <input type="checkbox"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	900円	

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1		名	要介護2 2 名
要介護3	3 名		要介護4 4 名
要介護5		名	要支援2 名
年齢 平均	86.1 歳	最低 73 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	若槻産婦人科クリニック、山崎外科・整形外科、清和病院、古味歯科診療所
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は、町内の中心地にあり、役場、学校、商店街、病院、警察、消防署、公園などの社会資源にも恵まれ生活基盤が整っている。周辺には史跡もあり、楽しむこともできる。利便性のある地域で、また昔ながらの地域の結びつきもあり、理念にある「自分らしく生きる」ための環境に恵まれている。事業所の経営主体が医療法人で、病院が事業所に隣接し、医療面における安心感がある。管理者、職員が事業所を利用者の生活の場として捉える姿勢・思いも感じられた。書類は良く整備され記録も取っており、家族等の事業所に対する信頼、理解が得られることに繋がっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	課題については、職員会でも話し合い、改善計画には改善目標期間を設定し取り組んでいる。評価については町・運営推進委員会・家族会にも報告している。利用者個別の記録、身体機能の維持で散歩外出、注意の必要な物品の保管は改善できている。地域との交流、その人らしい生活を送る居室の環境づくりへの支援については継続中である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員が、評価の意義とねらいについて理解したうえで、職員の意見を管理者が取りまとめ自己評価票を作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2~3カ月に1回開催。参加メンバーは、行政担当課、地域包括支援C、区長、民生委員、家族会、利用者で構成されている。会議では、事業所の現状や行事予定、今後の取り組み等を話し合い、議事録を取っている。次回からは2カ月に1回の開催を予定している。外部評価、その改善計画、取り組み状況についても会議で報告している。運営推進会議を通じて、行政担当者、地域との関わりを深めた取り組みを考えている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	来訪の家族には声かけして話し合う。訪問できない家族には、電話で近況報告をし聞き取りをしている。家族会、意見箱、運営推進委員会で意見をもらっている。事故が続いたときは苦情が出て、職員会で防止策等について話し合い取り組んでいる。そのことは、家族、運営推進委員会にも報告し、記録にも残している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の情報は、経営者個人が加入している町内会の会報から得ている。年1回の清掃活動、町文化祭にも参加し作品も出品している。できるだけ事業所への来訪者を増やし地域と関わりたいとの思いから、コーヒー券を配布するなどの努力をしている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [] <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 []	○	地域との関わりの大切さは十分に認識されているが、理念の中にその思いが盛り込まれていないので、検討されたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [月1回職員会で話し合い、日頃から声かけて意識づけている。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [声掛けや、車椅子利用者の方も含めて移動・移乗にゆっくり時間をかけて見守るなど、日々取り組んでいる。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 [経営者個人で加入、事業所としては加入していない。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [地域の情報は、個人が加入している町内会報から得ている。年1回の清掃活動、町文化祭にも参加し作品も出品している。]	○	事業所の理解、地域住民との交流を図るため、コーヒー券を配布し来訪者を増やしていくなど努力している。町内会には経営者個人で加入しているが、事業所も地域の一員として加入し、今後、より身近な活動を通じて地域と繋がりを持たれることを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 [職員がそれぞれ自己評価し、管理者が取りまとめている。評価の意義とねらいについては理解している。] <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 [課題については、職員会でも話し合い、改善計画には改善目標期間を設定し取り組んでいる。評価については行政・運営推進委員会・家族会にも報告している。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔参加メンバーは、行政担当課、地域包括支援C、区長、民生委員、家族会、利用者で構成している。会議では、事業所の現状や行事予定、今後の取組み等を話し合い、記録を取り、双方向的な会になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔評価・改善計画、取組み状況について会議で報告し、取り組んでいる。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政が主催する研修会に参加する他、運営推進会議の日程調整で役場を訪問、案内文書は手渡し、その際近況報告や行事への案内をするなど、出来るだけ行政担当者と行き来する機会を設けている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔週1回～月1回来訪する家族には声かけして話し合う。訪問できない家族には、電話で近況報告をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔月1回家族にお便りで近況を伝えている。誕生日には写真にフレームを付けてプレゼントし、日常の写真は希望される方に購入してもらっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔事故や心身状況で問題があった場合は、必ず家族に連絡を取って報告している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔 〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会、意見箱、運営推進委員会で意見をもらっている。家族会は、イベントに合わせて開催し、出席率が高い。できるだけ機会を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔職員会で防止策等について検討する仕組みがある。苦情報告や検討記録も整備している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>[]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>[引き継ぎ期間は1カ月取っている。また家族には、お便り、家族会で報告している。]</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>[年間の研修計画を立て、年1回以上はパート職員も含めて研修している。研修は公休扱いで参加費は事業所が負担している。年3回事業所独自で研修を実施している。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>[月1回職員会で報告する他、研修報告書を作成し、内容を共有できるようにしている。]</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>[県内組織には加入している。地域ケア会議、越知町ケアマネ連絡協議会の研修にも参加し資質向上に努めている。]</p> <p><input type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>[開設時、他地域の事業所を訪問したことがあるが、その後、同業者との交流はない。]</p>	○	積極的に研修に取り組んでいるが、他の同業者との交流を通じて得ることは、事業所相互にとって勉強になり、サービスの質の向上、職員の資質向上にも繋がるため、今後の取り組みを期待したい。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>[家族と本人に数回面接し本人の状況等の把握に努めている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>[]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>[管理者とケアマネが面接し、職員に報告する。見学時に職員が対応することもある。]</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔裁縫、洗濯物たたみ、調理、食器の片付け、金魚の餌やりなどそれぞれの状態に応じて役割分担している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔利用者ができることを大切にしながら、能力に応じた役割分担(調理、畑仕事など)に配慮し、場面づくりをしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔春の山菜の下準備や野菜づくり、地域の文化など、利用者の経験から教えてもらうことが多い。〕		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔日々、利用者との会話や接する中で、希望や意向の把握に努めるほか、職員間で話し合い情報の共有をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔家族、関係者から聞き取り情報を得よう努めている。〕		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔車椅子を使用している利用者が多い中で、家族は外出や歩行訓練を希望する方が多く、対応する介護計画を作成している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔ケアカンファレンスは月1回開催し、意見交換やモニタリングを行っている。〕		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔3カ月に1回見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔入院や状態の変化、介護認定更新時にはその都度見直している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔本人の状態、経過を見ながら、1カ月の短いサイクルでプランを立てたり、3か月の見通しの下にケアプランを作成している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 ^の の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔併設の病院が24時間対応している。また週1回の往診もあり、医療処置を受けながらの生活ができる体制である。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔医師の指示により入院介護になる以外、重度化、終末期のケアも視野に入れており、看取りの実績もある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔 〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔協力機関以外の受診希望にも対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔協力機関以外の通院は、慢性疾患の方は家族に対応してもらっているが、緊急時には対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔 〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔重度化した場合の指針を定めており、家族、主治医と話し合い、同意書をもっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔重度化した場合の同意に基づいて、医師と家族、事業所が話し合う仕組みがある。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 〔大きな声や言葉かけなどにも注意している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔採用時また勉強会でも、職員には十分徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔職員が事業所独自の業務マニュアルを必携しており、事務室のロッカーにも置き、常時確認することができる状態である。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔重度化した場合、利用者が自発的に希望することは少なくなり、業務の流れに合わせて生活していただくこともある。〕	<input type="checkbox"/>	利用者一人ひとりのその日にしたいことをできるだけ把握し、希望に沿うように努めているが、本人の意向が確認できない利用者に対して、業務の流れや職員体制で即対応できない場合もある。できるだけ日々その人らしい生活を支援できるよう努められたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔調理や後片付けで利用者ができることは役割を持ってもらっている。家族が季節の物を持ってきてくれた時は、それらを材料にした料理の希望を利用者に聞き、その日の献立を決めることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔 〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 〔声掛けを上手に、誘導方法や順番を変えたり、日を変更するなど工夫して入浴支援に取り組んでいる。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔一人ひとりのできる力を活かして家事等で役割を担ってもらっている。また皆で文化祭に出品する作品作りを楽しんでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔裁縫が好きな方にはツギをあててもらったり、調理、野菜の皮むきや後片付け、畑の種まきなど経験、力を活かす場面を作っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔利用者一人ひとりに声掛けし、月1回生花教室を開催したり、文化祭に出品する作品作りと楽しみごとへの働きかけを行っている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔ふるさと訪問や町内の散歩で知人と出会い話し込むこともある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に 行っている。 〔車椅子を使用している利用者もいるが、コスモス祭りや文化祭など戸外に出るよう にしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔 〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔傾向を把握し外出した場合は、職員が後から見守りながらついて行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いてい る。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔年1回、秋に消防署と協力して火災訓練をしているが、地域住民の参加はない。今後運営推進会議で区長にも避難訓練等の協力を依頼することを考えている。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔業者が定期的に火災報知機、消火器の点検チェックをしている。非常用食料・備品の準備はしていない。〕	○	事業所は2階にあり、車椅子を使用している利用者が多く、災害時避難にも時間がかかる。地域住民の協力は欠かせないので、住民の参加を得て避難訓練、夜間訓練等を実施されるように期待する。非常用食料・備品は災害時に利用者の生命を護るために必要であり、早急に準備することを望む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔食事や水分の摂取量をチェック表に記録し把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔献立は栄養士に依頼し作っているが、利用者からの要望で変えることもある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔栄養士が献立を作成し、チェックしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔居間にはかわいい縫いぐるみ、色鉛筆やおじゃみ、裁縫道具など馴染みのものを使い易いように置かれ、また喫煙コーナーも設けられて居心地よい共有の場所になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔居間には利用者が作った敷物が、玄関には製作途中のビーズの暖簾が掛けられ馴染み易く、玄関、廊下は落ち着いた雰囲気が醸し出されている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔玄関には生花や写真、居間のテーブルには季節の花が飾られ、金魚の水槽は癒しの空間を作り、季節感等に配慮している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしい居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔家族の考えや思いもあるが、事業所としてはできるだけ居心地良い居室づくりに取り組んでいる。〕	○	家族会でも、使い慣れた馴染みの物を持ち込んでもらうように話しているが、居室に持込の物が少なく寂しく感じる。カレンダーや写真を飾ったり、ポータブルトイレを使用しない時は布で目隠しするなど、今後も職員からの継続した働きかけや工夫を期待する。